



統計学のセンス

— データを見る目、統計手法の選び方、結果の解釈 —

Good Taste in Biostatistics

How to look, select and interpret ?

講師：丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日時：平成24年4月20日（金）PM1：30～PM4：40

場所：汐留イタリア街東京茶業会館 8F 東茶協ホール

テキスト：丹後俊郎著、「統計学のセンス－デザインする視点・データを見る目」朝倉書店、1998。＊当日、テキスト購入を希望される方は事前登録が必要です。3,300円（税込）

参考書：丹後俊郎、Taeko Becque 著。「統計解析の英語表現—学会発表、論文作成に向けて」朝倉書店、2009。

対象：臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費：参加申し込み区分：A：大学院生5千円（大学院生を本分とされている方）、
B：アカデミック1万円（病院・研究機関など含む）、C：ノン・アカデミック2万円

定員：50名（定員に達しだい受付締切）

セミナーの内容：

拙著「統計学のセンス」には次のように書かれている

第Ⅰ部：基礎編

今日では、どんなデータでも統計ソフトに入力すればいろいろな検定・推定の計算が自由に指定できる。この容易さが誤った統計解析を生む大きな原因となっている。データの取得方法の違いによって解析方法と結果の解釈が異なること、また統計解析すること自体ナンセンスであるデータも少なくないことを理解したい。その意味で、第一部では、最小限これだけは知っていて欲しいと思われる統計学のセンス、多くの研究者が気がついていないと思われる注意事項などを簡潔に解説する。したがって、来週学会があるので急いでデータをまとめなければならない、などと、あせっている読者にもぜひ読んでいただきたい。大きな過ちを犯さないためにも、*Walk don't tnn!*

第Ⅱ部：アラカルト編

本編では、研究目的に応じて、データをどのように解析して、どのようにまとめるか、そして最後に、どのように解釈するか、について実際例で解説する。気軽に、しかし、理解できるまで繰り返し読んでセンスを磨いていただきたい。満員電車のなかでつり革にぶら下がりがらでも十分読破できる内容と信じて。

本セミナーでは、最近の進展も織り込みながら、これらの事項について解説したい。



エレガントな汐留イタリア街で行われる最先端のセミナーに出席しませんか？

Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます



アクセス：


東京都港区東新橋 2-8-5 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール



JR「浜松町」駅「新橋」駅・地下鉄大江戸線、ゆりかもめ「汐留」駅より徒歩7分
地下鉄三田線「御成門」駅より徒歩7分・地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅より徒歩8分

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もごございますので、**4/12** (Thu) までに、できる限り、
事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。※領収書お渡します。

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第1回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催8日前（開催当日を含まず）まで不要、以降、7日前-前々日のキャンセル：参加費の半分、前日、当日のキャンセル：全額

医学統計学研究センターは東日本大震災の被災者の方々を支援するため、参加費の一部を義援金として寄付し、日本赤十字社を通じて被災者の方々の支援活動を応援致します

